

「AIエッジコンピューティング技術領域に係る知財戦略・標準化戦略調査」

# ～ 公募説明会 ～

2026年6月12日

ご参加いただきありがとうございます。

※マイクOFF／カメラOFFにして、開始まで今しばらくお待ちください。

※Teams表示名は公開情報となります。非公開ご希望の場合は、ブラウザからのログインでゲスト表示をしていただく等ご対応ください。

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

半導体・情報インフラ部

- (1) ご発言時以外は、マイク／カメラをOFFにしてください。
- (2) 本説明会については、記録のため録画をさせていただきますのでご了承ください。
- (3) ご質問は説明後にまとめてお受けいたします。
- (4) ご質問の際はTeamsの挙手ボタンを押してください。事務局で指名致しますので、指名を受けた方はミュート解除して質問をお願いします。法人名は述べていただかなくて結構です。
- (5) 投影資料及び本日の質疑応答内容については、後日公募HPに掲載いたします。
- (6) 本資料は、注意すべき点について一部抜粋をして説明しておりますので、詳細については、仕様書、公募要領の記載事項をご確認ください。

IoT社会の到来により急増した情報を活用するためには、ネットワークの末端（エッジ）側で中心的な情報処理を行うエッジコンピューティング等、従来のサーバー（クラウド）集約型から情報処理の分散化を実現することが不可欠となっている。また、情報処理の高速化や省エネルギー化の重要性が高まる中、社会全体が扱う情報量はさらに増加が見込まれ、データの処理に係る負荷や消費電力を劇的に低減するためには、従来の延長線上にない新たな技術の実現が求められる。

このような背景から、NEDOでは、エッジ領域においてAI技術を活用した高度な情報処理を行うことでクラウド領域でのデータ量増大・消費電力増を抑えるAIEッジコンピューティング技術に関する研究開発「省エネAI半導体及びシステムに関する技術開発事業」を実施しており、当事業で得られた成果の知的財産化や国際標準化に向けた活動を推進している。

当事業で得られた知的財産等についての具体的な取得・管理・利活用手法や、当事業の成果を国内外の標準に反映させ自社の技術・事業・知的財産の競争優位性を確保・拡大させる具体的な取組・関与・利活用手法は、技術領域や研究開発フェーズ、事業・経営戦略等に応じて研究開発テーマ毎、事業者（必要に応じて知財運営委員会を含む）毎に異なるため、それぞれにおいて適切な知財戦略を立案し、研究開発や事業環境の状況に応じて適時に見直しながら推進することが、社会実装においてはプロジェクトの成功に不可欠である。

本調査は、研究開発の技術領域としてAIEッジコンピューティングの国内外における知財活動状況等を調査し、研究開発成果の社会実装に向けて顕在化している課題及びその解決に向けた方策を整理した上で、今後取り組むべき知財・標準化戦略を取りまとめてNEDOに報告・提言することで、プロジェクト成果の普及・実用化による社会問題の解決等に資することを目的とする。

## 事業名

### 「省エネAI半導体及びシステムに関する技術開発事業／革新的AI半導体・システムの開発」

エッジコンピューティングにおけるAI処理を実現するための小型かつ省エネルギーながら高度な処理能力をもった専用チップと、それをを用いたコンピューティング技術に関する研究開発を、エッジ領域および同領域に紐づくネットワーク環境で想定される産業領域（自動運転、産業機械、医療・福祉等）を見据えた上で事業を実施する。

## ■ 予算規模

2,000万円以内

## ■ 調査期間

NEDOが指定する日から2027年3月31日まで

## ■ 報告書の提出期限

2027年3月31日まで

## ■ 調査内容

産業領域別（例：①自動運転、②ロボット・産業機械、③医療・福祉・ヘルスケア等）にマクロ調査や事業者・有識者ヒアリング等を行い、知財・標準化動向を整理し、今後、日本がAIエッジコンピューティング技術において国際競争力を獲得していくために取り組むべき方向性について報告・提言する。また、それらを実現させていくために知財・標準化に関する戦略を明らかにする。

なお、実施にあたっては、NEDO及び必要に応じ経済産業省との連携のもとで行うものとする。但し、下記（１）～（５）の調査実施項目及び調査対象技術等に、変更・修正・優先順位付けが必要となることが明らかな場合は、NEDOと協議・合意した上で変更等を可能とする。

- （１）知財・標準化に関するマクロ調査（デスクトップ調査）
- （２）知財・標準化に関する国内外事業者の実態調査（ヒアリング調査）
- （３）知財専門家（INPIT知財プロデューサ、弁理士、業界団体）へのヒアリング調査
- （４）オープン・クローズ戦略の整理・分析
- （５）産業領域別の知財戦略案・標準化戦略案の作成

上記（１）～（４）を踏まえ、研究開発テーマに関する知財の蓄積状況や競争環境等を整理した上で、当事業の研究開発成果の活用や将来の事業化・標準化を見据えた知財戦略案及び標準化戦略案を産業領域別に検討・作成する。

## ■ 調査の進め方

### (1) 進捗報告

調査の進捗状況及び中間的な検討結果については、原則として月に2回程度、NEDOへ報告するものとし、必要に応じて内容の確認や協議を行うものとする。

### (2) 事業者レビューを通じたブラッシュアップ

調査内容（5）において作成した産業領域別知財戦略案・標準化戦略案については、事業者へ提示して意見交換を行い、その結果を踏まえて内容をブラッシュアップし、最終的な提言としてまとめる。

### (3) 中間報告

中間報告では、調査内容（1）～（3）について得られた知見を整理し、国内外の動向や研究開発テーマにおける取組状況、顕在化している課題等について報告する。これらの結果は、最終的な提言の検討に向けた基礎情報として活用する。

### (4) 最終報告

中間報告の内容を精緻化し、研究開発テーマに係る産業領域別知財戦略案・標準化戦略案について提言を取りまとめ、調査報告書を作成の上、NEDOへ報告する。

## <応募要件>

応募資格のある法人は、次の（１）～（３）までの全ての条件を満たすことのできる、単独又は複数で受託を希望する企業・大学等とします。なお、国立研究開発法人が応募する場合、国立研究開発法人から民間企業への再委託又は共同実施（再委託先又は共同実施先へ資金の流れがないものを除く。）は、原則認めておりませんのでご注意ください。

- （１）当該技術又は関連技術の調査実績を有し、かつ、調査目標達成及び調査計画遂行に必要となる組織、人員等を有していること。  
また、知財の専門家であり、かつ民間企業における事業戦略策定経験のある方が業務管理者（※）であることが望ましい。

（※）「業務管理者」とは、本提案における調査を遂行する際の責任者です。

- （２）委託業務を円滑に遂行するために必要な経営基盤、資金及び設備等の十分な管理能力を有し、かつ、情報管理体制等を有していること。
- （３）NEDOが事業を推進する上で必要とする措置を、委託契約に基づき適切に遂行できる体制を有していること

## <実施要件>

本調査は、採択後、調査委託契約を締結します。調査委託契約の締結にあたっては、最新の「調査委託契約約款」を適用します。その他必要に応じて、特別約款の適用を求める場合があります。また委託業務の事務処理においては、NEDOが提示する事務処理マニュアルに基づき実施いただきます。事業の実施にあたっては、該当する約款及びマニュアルを遵守いただくことが要件となります。

## <受付>

本公募は、**電子申請システム「Jグランツ」**で応募を受け付けます。

応募には、**事前にGビズID の「GビズIDプライムアカウント」又は「GビズIDメンバーアカウント」が必要**です。

GビズIDの取得は2週間以上かかる場合もあるため、GビズIDを未取得であれば余裕をもって登録手続きを行ってください。

GビズIDが無いと本事業への応募ができませんので、十分ご注意ください。

## <受付期間>

2026年06月08日（月）～2026年06月26日（金）正午まで（アップロード完了）

## <提出先>

以下の J グランツ公募ページから、必要情報の入力と提出書類のアップロードを行った上で、申請してください。

<https://www.jgrants-portal.go.jp/subsidy/a0WJ200000CDZXWMA5?wfid=a0XJ2000006pDqGMAU>

## <提出にあたっての留意事項>

- (1) 提出書類は日本語で作成してください。
- (2) 「応募要件」を満たさない者の提出書類又は不備がある提出書類は受理できません。
- (3) 提出書類に不備があり、提出期限までに修正できない場合は、提案を無効とさせていただきます。受理後であっても、応募要件の不備が発覚した場合は、無効となる場合があります。
- (4) **Jグランツ上の申請は、提出期限を厳守ください。提出期限までに申請完了できなかった場合は、応募は原則受け付けできませんので、余裕をもって提出してください。**
- (5) 再提出は受付期間内であれば何度でも可能です。
- (6) 応募者の責に依らないやむを得ない理由等（例：組織形態上、GビズIDの取得がそもそも不可でJグランツが利用できない、GビズIDやJグランツ等の外部システムのシステムメンテナンスや障害発生等のシステム運営側の事情により申請ができない等）により、**提出期限までにJグランツ上の申請が困難な場合には、提出期限前までに必ずNEDO担当者まで連絡し、NEDO担当者の指示に従ってください。**
- (7) **Jグランツ上にアップロードするファイルは提出書類ごとに作成し、一つのzip ファイルにまとめてください。なお、アップロードするファイル（PDF、zip等）にはパスワードは付けしないでください。**
- (8) アップロードされたファイルにおいて、ウイルス検知又はその疑い等があると当機構が判断した場合は、調査のため第三者へファイルの提供を行う場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- (9) Jグランツ上で入力項目として提案概要等の記入も求めていますので、あらかじめご了承ください。

## <提出書類>

以下の提出書類が必要となります。具体的な様式は[NEDO公募ページ](#)の別添1~3をご参照ください。

- 別添1：提案書
- 別添2：提案者情報
- 別添3：NEDO事業遂行上に係る情報管理体制の確認票及び対応エビデンス
- 直近の事業報告書及び直近3年分の財務諸表（原則、円単位：貸借対照表、損益計算書）

※ その他、提出書類の留意事項について、公募要領P5~6をご確認ください。

※ **公募ページの提案書はWord形式ですが、提案書の全ての内容が含まれていれば、PPT形式で作成いただいても結構です**

提出期限までにアップロードを完了させてください。

## 提出期限

**2026年6月26日（金）正午までにアップロード完了**

※応募状況等により、公募期間を延長する場合があります。公募期間を延長する場合は、ウェブサイトでお知らせします。

## ご注意

**アップロードでの提出のみ受け付けます。  
他の提出方法（持参、郵送、FAX又はE-mail等）による提出は、原則受け付けません。**

審査項目	審査の視点
i.提案の適合性	NEDOの意図に合致しているか 等
ii.提案の具体性・優位性	提案に具体性があるか、スケジュールが効率的か、提案に優位性があるか 等
iii.実施体制・能力	役割分担が明確で適切な遂行体制か、必要な実績や人員を有するか 等
iv.提案の経済性	予算の範囲内で適切に計上し、妥当な予算規模か 等
v.経営基盤	経営状況は良好か 等

なお、採択審査にあたり、以下の要素で加点を行います。

- 女性活躍推進法に基づく認定企業(えるぼし認定企業・プラチナえるぼし認定企業)、次世代育成支援対策推進法に基づく認定企業(くるみん認定企業・プラチナくるみん認定企業・トライくるみん認定企業)、若者雇用促進法に基づく認定企業(ユースエール認定企業) に対しては加点します。

- 2026年6月26日：公募締切
- 2026年7月中旬（予定）：採択先決定
- 2026年7月下旬（予定）：ウェブサイト公表
- 2026年9月上旬（予定）：契約締結

本事業の内容及び交付に関する質問等は  
**6月15日（月）から 6月24日（水） 17時までの期間に限り**  
下記宛にE-mailにて受け付けます。

**※審査の経過等に関するお問い合わせには応じられません。**

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構  
半導体・情報インフラ部 村山、野村

E-mail : [aicip@nedo.go.jp](mailto:aicip@nedo.go.jp)

提案書を作成いただく上で参考となる資料です。

- **委託事業の手続き：約款・様式**

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/yakkan.html>

- **委託事業の手続き：マニュアル**

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

説明は以上となります。

質問のある方は、挙手ボタンを押して下さい。

NEDOより指名されましたら、

ミュートを解除していただき、質問をお願い致します。